



セネガルで学校給食を用意する子どもたち。干ばつで農作物が不作となり、飢餓と栄養不良が増えています。(2018年2月)

飢餓から救う。未来を救う。

国連の食料支援機関

国連WFPニュース

Oct. 2018 Vol.57

国連 WFP、干ばつのサヘルに緊急支援
食料不足、過去4年で最悪に

国連WFP新サポーター EXILE ÜSA さんよりメッセージ



「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)は、2030年までに達成すべき17の国際社会の共通目標をまとめたもの。国連WFPは、目標2「飢餓をゼロに」が他の目標達成の基盤にもなるとの考えのもと、その実現を目指しています。

世界食料デーキャンペーン2018 (10月1～31日) あなたのSNS投稿が、食料支援につながります

世界食料デー(10月16日)を挟んだ1カ月間、世界食料デーキャンペーン2018「Zero Hunger Challenge 食品ロス×飢餓ゼロ」を実施しています。

キャンペーンでは、皆様によるレシピのSNS投稿を、飢餓ゼロへの支援につなげます。

①食品ロスになりがちな食材(賞味期限が近づいた乾物や調味料、野菜の皮や茎など)で料理を作り、写真を撮影してください。

②ハッシュタグ「#ゼロハンガーレ

シピ」「#wfp」をつけてSNS(ツイッター、インスタグラム、フェイスブック)に投稿!

⇒1投稿につき100円が、寄付協力企業から国連WFPの食料支援へ寄付されます。

キャンペーンには多くの料理研究家、シェフにご協力頂いています。協力料理家へのいいね!やシェア、リツイートも、同額の寄付になります。詳しくはキャンペーンサイトへ

<https://www.jawfp.org/worldfoodday2018/>

#ゼロハンガーレシビ 大根の皮の酢醤油漬け

〈材料〉

大根の皮

…10cm分(70g)

米酢 …大さじ1

濃口しょうゆ

…大さじ1

鷹の爪輪切り…適宜

〈作り方〉

大根の皮を2cm角

に切り、保存容器に入れ、米酢と濃口しょうゆ、

好みで鷹の爪を加えて冷蔵庫で保管する。

1時間後から食べられ、2週間保存可能。

ぜひ作ってみて
ください!



ご協力いただく料理研究家
大原千鶴さん



インフォメーション

公式アプリ無料ダウンロードで 給食1日分の寄付に!



国連WFPの公式アプリ「FOODDeliver(フーデリバー)」では、1ダウンロードが給食1日分の寄付(※)になるキャンペーンを実施中です。

1万人の子どもたちに支援を届けることを目指しており、2018年7月末現在、1,745人にダウンロード頂きました。

目標達成に向け、皆さまのご協力をお願いいたします。

※協力企業(日清食品ホールディングス㈱)から寄付されます。

<https://www.jawfp.org/foodeliver/>

アンケートのお願い



より充実した紙面づくりのため、アンケートにご協力ください。

ご協力いただいた方の中から抽選で3名様に、国連WFPオリジナルマ

グカップ(2色のうち1色)を差し上げます。

アンケートはこちら(2018年12月末日まで受付)

<https://goo.gl/JoE7p7>



身近にできる国連WFP支援

レッドカップキャンペーン

この秋新たに泉南乳業(株)がレッドカップキャンペーンに参加しました!

新泉マイパック牛乳 200ml、

酪農牛乳 1000ml等、計12点

の対象商品の売り上げの一部

が、国連WFPの学校給食支援に寄付されます。

www.jawfp.org/redcup

あなたのご遺志が、命を支える食料となり 未来への希望に繋がります。

遺言によるご寄付や相続財産からのご寄付には相続税がかかりません。詳しい資料をお送りしております。お気軽にお問い合わせください。

メール legacy@jawfp.org

電話(通話料無料) 0120-496-819

(9:00～18:00 年中無休)



最新の情報は…



国連WFP
www.wfp.org/jp

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 6F

0120-496-819

受付時間 9:00～18:00(通話料無料・年中無休)

支援の現場から

ジンバブエ 

並木愛 なみき・あい

国連 WFP ルワンダ事務所
プログラムオフィサー

民間企業を経て 2017 年から国連ボランティアとして国連 WFP ジンバブエ事務所に勤務。2018 年 8 月からルワンダ事務所に赴任。



©WFP/Tatenda Macheka

日本の寄付が給食調理用の井戸に ジンバブエ、並木愛さんに聞く

ジンバブエは干ばつや政情不安、経済破たんが重なり、多くの人が貧しい暮らしを強いられています。朝と昼はお茶で済ませ、食事は夕食だけという家庭も珍しくありません。子どもたちの栄養状態を改善し、勉強に集中できるようにするためにも、学校給食の普及は急務です。

しかし地方では、水道管が老朽化し、給食調理用の清潔な水を得ることができません。

干ばつの影響が最も深刻な、南部ジシャバネ地区の小学校を訪れた時の事です。約 500 人の生徒の多くは弁当を持たず、お昼に近くの木からまだ青いマンゴーやバナナを取ってかじっており、胸をつかれました。

ジンバブエ事務所は日本の国連 WFP 協会からの支援を活用し、学校に井戸を掘る活動をしています。ジシャバネ地区の学校でも、今年 2 月に井戸が完成し、近々給食も始まる予定です。子どもたちは渋いマンゴーの代わりに、温かい給食を食べられるようになります。

日本の皆様のご寄付で、11 校に通う約 5500 人に安全な水と給食を届けることができました。本当にありがとうございました。引き続きご支援をよろしくお願い致します。

小学校での井戸掘削の様子。ついに水源を掘り当てた！



©WFP/Tatenda Macheka



©WFP

国連WFP新サポーター EXILE ÜSAさんよりメッセージ

国連WFPサポーターとして、飢餓ゼロに向かって進む仲間に加えて頂き、大変光栄に思います。

僕はこれまでに海外20カ国以上を訪れましたが、楽しい事だけでなく悲しい光景も沢山目にしました。インドのバラナシでは、裸の赤ちゃんが屋根のない所で暮らしていて、心が痛みました。そんな中で、自分ができるダンスを通じて、平和で幸せな社会を子どもたちに渡したいと考えるようになりました。

地球には全人口76億人に十分な食料があるはずなのに、何億人もの子が飢え、死に至る子もいる。そんなことは大至急なくしたい。簡単ではないですが、僕たち1人1人が本気で取り組めば解決できると信じています。

これから現地視察などで、支援活動の様子をしっかりと見て、お伝えしたいと思います。また世界の人々と踊りを通じて会話する「ダンス語」や、食べることの楽しさと大切さを表現する「おいしいダンス」も考えてみたいのです。



©A-works



©WFP/Adrien Rebours

放牧を営む村の住民の多くは女性と子どもたち

国連WFP、干ばつのサヘルに緊急支援 食料不足、過去4年で最悪に

サハラ砂漠の下に帯状に連なる「サヘル地域」に、この4年で最悪とされる「リーンシーズン」が到来しています。リーンシーズンとは、収穫期前の一年で最も食料が足りなくなる季節のことですが、干ばつによって例年以上に深刻化しており、人々の食料が底をつく恐れがあります。

村に残された女性と子ども

「男の人たちはとつくと村を後にしました」そう話すのは32歳の母親、マイモーナです。モータニアで放牧業を営む男性の多くは、リーンシーズンの間、水と牧草地を求めて家畜と共に移動します。昨年の少雨の影響で、今年の移動は例年よりも4カ月も早く始まりました。村には主に女性と子どもだけが残され、過酷な季節を生き残っていかなければなりません。



©WFP/Adrien Rebours

子どもを抱くマイモーナ

気候変動が「飢え」をもたらす

昨年の雨季は降水量が極端に少なく、農作物が壊滅的な打撃を受けました。また、草が育たず飲み水もないために家畜が消耗し、放牧業や農家の人々は現金収入を得ることが難しくなっています。

家をきりもりしている母親たちにとつて、子どもたちを毎日食べさせていくことは容易なことではありません。「家畜が減ってしまうことは、収入が減ることを

緊急支援、最高レベルの「レベル3」に

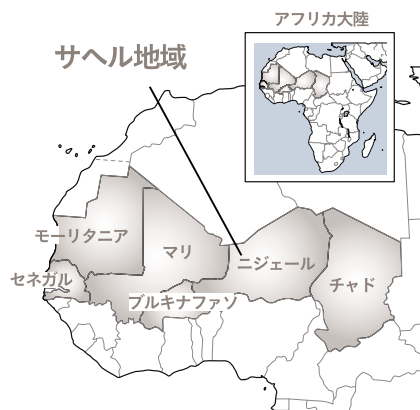
サヘル地域の危機的な食料不安に対応するため、国連WFPは6月、緊急支援のレベルで最も高い「レベル3」の緊急支援を行うことを決めました。サヘル地域では、今年9月までの間に580万人が飢餓の危機に直面する恐れがあります。最も深刻な影響をうける

ているのは子どもたちで、6カ国で550万人の子どもたちが急性の栄養不良の危険にさらされています。

根本的な「原因」解決のための支援

国連WFPは、今必要とされる食料を直ちに人々の元に届ける「緊急支援」と共に、生活を長期的に支えるための「自立支援」にも力を注いでいます。例えばモータニアでは砂漠化を食い止めるための植栽活動、チャドでは灌漑設備の整備や、トウモロコシや玉ねぎの栽培を村人の手で行い、その労働の対価として国連WFPから食料引換券や現金を支給しています。これにより、生活の糧となる雇用を生み出すだけでなく、持続的な農作物の生産を可能にしていけます。

国連WFPは、サヘル地域のリーンシーズンに緊急に対応していくために約285億円を必要としています。



アフリカ大陸

サヘル地域

モーリタニア マリ ニジェール チャド
セネガル ブルキナファソ